

い な 話



<http://www.facebook.com/haruo.hinode>

厳しい季節も過ぎつつあります。徳島では昨年十二月、思ったより低気温の日が続きました。年が変わってからも寒い日々が続きましたが、近頃はやや落着きつつあるようです。

今年は、今のところ、山間部を除いて、積雪はないようです。交通機関の乱れも少ないようです。出来ればこのまま春に向かって欲しいというのは、寒がりの本音であります。

陽射しといえば、この頃になると、仄かに春めいてきます。日中の陽光は春の訪れを告げるに充分な強さ

弥生やよい三月です

劇団 俳優座

七人の墓友

作＝鈴木聡 (ラッパ) (監) 演出＝佐藤徹也 (オフィスクレシェンド)



小笠原良知 可知雄之 遠藤剛一 青山嘉子 片山乃由美 伊東達広 松本潤子 天野真由美 河内希
田野聖子 清水真子 佐藤あかり 斎藤洋 蔵本康文 齋藤龍介 千賀功剛 八柳海 野土綾花

徳島市民劇場

TEL 088-653-1752
FAX 088-653-1755



持っています。自然と心
 持ちは、春となります。
 しかしながら、インフルエ
 ンザの猛威も残存している
 ようです。私自身も、この
 年初、風邪気味となり、診
 察の結果、インフルエンザA
 型との結論を得ました。イ
 ナビルという吸引薬の処方
 を受け、早速、治療したわ
 けです。(上図)

未だ、咳が途切れません。
皆さんも御自愛、下さい。

徳島市民劇場の話

左図では、徳島市民劇場の三月例会を紹介しています。

ポスターの雰囲気として、何か暗いイメージがあります。七人の侍、七人の戦友、

：今回は「墓友」なのだそうです。

個人的にもシリーズです

近日、左図のような電報をいただく機会が私にも訪れたのです。お悔み電報なのです。

父親がこの二月、他界したのです。結果、市民劇場の二月例会への参加は断念しました。九月例会の際は、外科手術を受ける日程と重なり、欠席となりました。年間六回の例会の内、二回を欠席しました。

生きることと死ぬこと、そんな課題が切迫した状態なのであります。

墓の話、死後の話

今回のストーリーは？や、長くなりますが公演ちらしより、引用させていただきます。

雑誌編集者の仁美はある日突然、実家の母・邦子にスカイツリーの展望台に呼び出される。

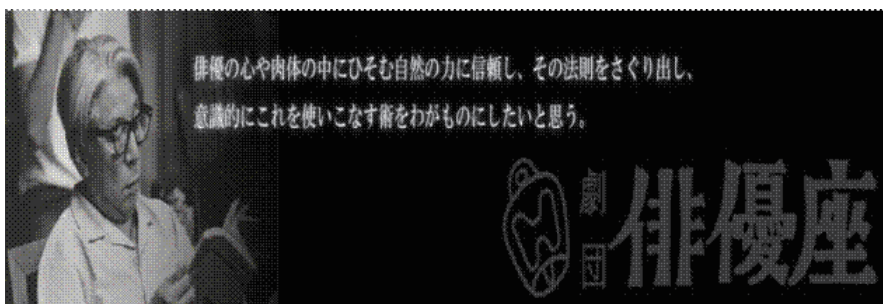
飼犬の桃太郎が死んだと言うのだ。死や人生につ

いてしみじみと語る邦子に、仁美は母の心境の変化を感じ取る。

夏、家族や友人が久しぶりに顔を揃えた実家で、ひよんな諍いから邦子は夫・義男への積年の不満を爆発させ「あなたと同じお墓には入りたくない」と口走ってしまう。さらに海外在住の仁美の弟・義明が驚くべき告白をし一家は大騒動に。そして邦子は地元のアラフォーミレスでやがて「墓友」となる個性豊かな老人たちと出会う…。

家に縛られない新しい墓の在り方を模索するお墓仲間・墓友たちの物語を中心に「結婚しないアラフォー女性」「長い長い老後」など現代的なテーマをぎっしり織り込んで描く「七人の墓友」。深刻な問題を明るく、本音で、ユーモラスに。

まさに現代を生きる私たちがそのまま舞台にいるかのような、笑いと涙と共感がたつぷりの作品です。



家族の物語を経験した直後の私自身にとって、どのような舞台になるのでしょうか？期待もありますが、半分は怖さの世界です。

劇団俳優座

青山杉作、千田是也、東

野英治郎、小沢栄太郎、東山千栄子、岸輝子ら錚々たるメンバーで出発した劇団俳優座は、劇団民藝、文学座と並ぶ三大新劇集団としての地位を築いて来まし

た。正統派集団と云えます。上記ロゴ参照。

ラッパ屋

今回の脚本の原作は鈴木聡氏、劇団ラッパ屋の主宰です。広告会社・博報堂のコピーライターだった氏の作る舞台は、「おまぬけなコメデイダがキュンときてズンとくる」と支持されているとされています。

但し、ほぼ、喪中の私にどのようなインパクトを与えるのでしょうか？

